

2007年度国際法学会秋季研究大会プログラム

日時：2007年10月6日（土）・7日（日）

場所：帝塚山大学東生駒キャンパス6号館

第1日 10月6日（土）

受付開始 午前9時30分

研究報告

共通テーマ「国際法秩序の客観化」

◇午前の部（午前10時～午後0時20分）

6号館6201教室

座長 北海道大学教授

小森 光夫

1 国際紛争処理過程と国際法の機能

東京大学教授

奥脇 直也

2 法化のパラドックス—権威構造の階層化と断片化する多国間主義—

首都大学東京教授

山田 高敬

研究連絡委員会（午後0時20分～2時）

6号館大会議室

雑誌編集委員会（同上）

6号館6226教室

国際交流委員会（同上）

6号館6227教室

◇午後の部（午後2時10分～5時40分）

座長 名古屋大学教授

佐分 晴夫

1 国際法秩序における「民主主義」の機能

—規範と主体の意味の変容に関連して—

大阪市立大学教授

桐山 孝信

2 WTOと途上国

横浜国立大学教授

柳 赫秀

座長 龍谷大学教授

田中 則夫

3 紛争処理手続の多元化—制度設定による客観化から内実の客観化へ—

桐蔭横浜大学教授

内ヶ崎 善英

第2日 10月7日（日）

受付開始 午前9時30分

研究報告

◇午前の部（午前10時～午後0時20分）

6号館6201教室

共通テーマ「国際取引・国際投資における非国家法化の意義」

座長 東京大学教授

早川 眞一郎

1 国際投資紛争にみる「国際法の客観化」の意味

—激増する投資協定と錯綜する仲裁判断との中で—

神戸大学教授

濱本 正太郎

2 国際商取引における非国家法の機能と適用

上智大学教授

森下 哲朗

◇ 午後の部（午後２時１０分～５時２０分） 分科会

第１分科会「通商における知的財産権の国際的保護」

6号館6113教室

座長 九州大学教授

河野 俊行

1 TRIPs協定における医薬品特許の強制実施権と公衆衛生の保護

関東学園大学准教授

加藤 暁子

2 医薬品の並行輸入問題について

立命館大学准教授

樋爪 誠

3 特許権はどこまで「物権」たり得るのか

—国内実質法研究者の視点からのコメント—

神戸大学教授

島並 良

第２分科会「海洋境界紛争の解決手続・解決基準—その対応をめぐる—」

6号館6201教室

座長 立命館アジア太平洋大学教授

薬師寺 公夫

1 海洋境界画定の判例に見る法理

愛知大学教授

三好 正弘

2 海洋境界画定における関連事情の考慮—その客観化の限界—

上智大学教授

江藤 淳一

3 日本の近隣国との海洋境界画定問題

—一日中の東シナ海の大陸棚をめぐる問題を中心に—

外務省国際法局国際法課長

正木 靖

4 中越海洋境界画定協定に見られる衡平原則の具体化

鳥取環境大学専任講師

加々美 康彦

第３分科会「環境に関する国際法の客観化」

6号館6202教室

座長 同志社大学教授

臼杵 知史

1 国際法の「客観化」—環境に関する国際法を素材に—

神戸大学教授

柴田 明穂

2 貿易レジームと環境レジームの交錯

愛知県立大学教授

高島 忠義

3 人権法アプローチに基づく環境保護の実現

—法の形成・適用プロセスに見るその意義と限界—

東京外国語大学准教授

石橋 可奈美

総会・評議員会（午後５時３０分～６時）

6号館6201教室

懇親会（午後７時～８時３０分）

会場 奈良ホテル（懇親会会場まで貸切バスで移動します）

〒630-8301 奈良市高畑町1096 電話 0742-26-3300

会費 5,000円